

# 丹波市議会だより たんばりんぐ

令和8年

1

No.84

TAMBA CITY

6月 9月

3月 12月

定例会は  
年4回



## ミライ プロジェクト

市内高校生から  
丹波市の未来への提案



### CONTENTS

P2 ミライプロジェクト

P 6 ギロンの論点

P 8 ココが聞きたい！  
一般質問

P15 議案の審議結果

P16 議会からの報告



たんばりんぐ

Open!



若者と考える  
みんなで考える  
丹波市の未来

# ミライプロジェクト 2025



今年度の特徴は？



今年は第2ステージで、高校生・大学生・市議会議員が対面で意見交換する機会を設けました。  
学生の皆さんから提案のあったオンラインツールを活用しました。また、高校生主体でオンライン会議も頻繁に開催しました。

何か変化はありましたか？

昨年も行われた現地調査がバージョンアップしました。丹波市の課題や魅力発見のために、市内観光施設・民間事業所・市役所への視察やヒアリング調査など、積極的な取組がありました。そして、議員や地域の方との協働作業や交流を実施するグループもありました。



よかった点は？

本会議場での発表資料も高校生が主体的に関わり、作り上げました。話し合う中でキックオフ会議からテーマを進化させたグループもありました。ファシリテーターとして福知山公立大学の学生に活躍いただきました。



講評いただいた福知山公立大学 杉岡准教授

丹波市議会では「開かれた議会」を目指し「若者と考える、みんなで考える丹波市の未来」をメインテーマに市内3高等学校と氷上特別支援学校高等部、福知山公立大学 地域経営学部 杉岡ゼミと共に、若者の主権者意欲の醸成や政治への関心を高めるため、丹波市議会☆ミライプロジェクトを平成30年度から開催しています。



- **キックオフ会議（5月）**  
グループ会議を行い、丹波市への提案テーマを各グループで決めました。
- **第2ステージ（6月～10月）**  
オンラインツールや対面で意見交換をしました。
- **第3ステージ（11月）**  
本会議場で高校生に政策提案を発表していただきました。

## 高校生からの提案

高校生からどのような提案がありましたか？

- ・ eスポーツで地域の方と交流
- ・ 黒豆キーホルダーの制作と販売により丹波の魅力をPR
- ・ 丹波市特産物自動販売機の導入
- ・ キッチンカーで新しい仕事の挑戦の場を創る
- ・ 私たちの考えた「未来」を歌、動画でPR
- ・ 「モルック」を活用した多世代交流
- ・ 丹波バスポイントででかけよう 丹バススイーツフェスの開催
- ・ 丹波市の高校3校合同で文化祭を開催
- ・ 若者議会を通して地域課題について考える機会を増やす
- ・ 高校生主体の職業PRイベントを開催
- ・ 土と触れ合う丹波バスツアーの実施



※ 高校生からいただいた提案への返答は、次号でお知らせします。

# ミライプロジェクト 提案発表を終えて



今までしたことがなかったことをたくさん体験しました。事業所への電話、イベントの企画、議場に来て発言までしました。そうめん流しをする中で費用を集める苦勞を初めてしました。



発表ではかなり緊張しましたが、これまでの準備の成果を出し切れたと思いました。また、ヒアリングをする過程でたくさんの人たちと交流することができ、僕たちにはない新しい視点に気づくことができました。



丹波市の政策を考える中で、工夫の難しさを感じましたが、丹波市の一員としての自覚が芽生えました。行政や議員との関わりを通して、職員として地域に貢献したい気持ちが強くなりました。



議会で自分の考えを発表するのは初めてでしたが、提言できて良かったです。丹波市をよくするために小さなイベントでも自分たちで開きたいと思いました。他校の話から得た気づきを活かし、来年も参加したいです。

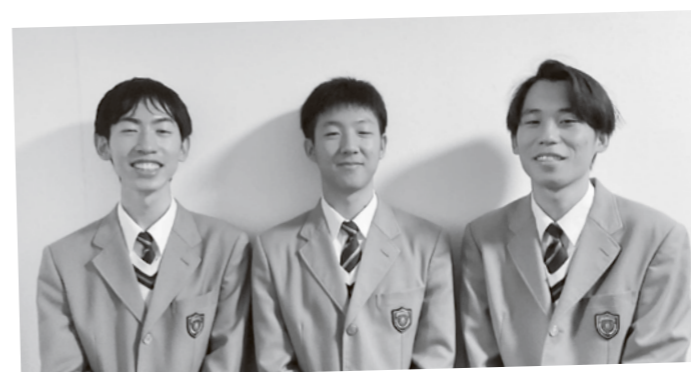


最初はあまり楽しくないと思っていましたが、実際はとても楽しく、多くの学びがありました。いろんな世代の人や大学生、議員と関わる中で、一つのことを形にするには多くの人が必要だと感じました。



みんなで協力して課題に取り組むことができました。難しい課題もありましたが、一生懸命に考え、頑張ることができたと思います。

スライド作りや発表原稿を作るのに苦戦しましたが、グループで意見を出しあってより良いものにしていく過程が強く印象に残っています。



不安なこともありましたが、発表までにしっかり準備ができて当日を迎えられて良かったです。楽しかったです。

昨年とは異なり、本格的に参加させていただいたのでプロジェクト全体が楽しかったです。準備が整った状態でできたのでよかったです。

昨年より開催時期が遅かったので検証などができました。大学生と丹波市の課題を考え、何か対策していかないといけないと感じました。とてもよい機会だと思いました。

# 道の駅「丹波おばあちゃんの里」指定管理者制度における利益の一部納付は

道の駅「丹波おばあちゃんの里」の利益の一部を市に納付することについて議論されました。これは丹波市にとって初の試みであり、その背景や運用方法について活発な質疑が行われました。

**問** これまで納付に至らなかった経緯と今回の納付額の積算根拠は。

**答** 令和2年度まで指定管理料を支払っていた施設であり、ガイドラインに基づき、一部納付対象外としていました。令和3年度からは、指定管理料の無料に加え、再整備前後の収支状況の変動を精査する必要もあったため、一部納付の規定を適用しておりませんでした。納付額の積算根拠は、営業利益の10%および自動販売機手数料の10%となっています。

**問** 利益の一部納付に関するガイドラインの具体的な基準設定や納付金の活用方法について、市の考えは。

**答** 利益の一部納付に関するガイドラインの具体的な基準設定については、施設が多種多様であるため一律の基準を定めることは難しいものの、今後の運用状況をみながら研究していく方針です。納付金は会計上、一般会計の諸収入として受け入れるため、特定の用途は定めず、他の財源と同様に有効に活用していく考えです。



再整備のイメージ

# 旧丹波少年自然の家再整備に向け18.4億円

10年間の独立採算による運営を実現するための再整備事業費が当初の上限額10億円から17億円（安全対策費を除く）に増額され、その一部が補正予算で債務負担行為として計上されました。

**問** 当初の上限額から、大幅に増額となった要因は何か。

**答** 施設の詳細な現況確認や劣化診断調査を行ったところ、アスベストの撤去、浄化槽や空調設備など、運営上、重要な基幹設備を更新すべきだと判断しました。また、収益性の確保に向けて既存施設全体の品質・快適性を高めるほか、地域や市議会から意見のあったグラウンド夜間照明等を設置します。

このことにより、新たな利用者層の獲得・拡大を図り、10年間独立採算の運営につなげます。

**問** 財源はどのように確保するのか。

**答** 過疎対策事業債の中でも、優先的に財源が確保される雇用創出特別分を活用し、ハード整備費用全額の財源が確保される見通しとなりました。解散した一部事務組合の構成市町から拠出していただいた3.1億円があるため、最終的に市の一般財源は約2億円の持ち出しとなります。初期投資を大きくするほうが、市の財政負担は軽くなると見込んでいます。

現行基本協定書に基づく全体事業費	10.0億円
① 新築コテージの取りやめ等	△3.0億円
② アスベスト撤去・浄化槽の基幹設備等	5.4億円
③ 快適性の向上	3.9億円
④ 地域・市議会等からの意見	0.7億円
※ 施設の安全対策	1.4億円
<b>概算事業費</b>	<b>18.4億円</b>

# 入札検査部を財務部に移管しても独立性は保てるか

効率的かつ効果的な行政運営を図る組織体制を構築するため、入札検査部の事務を財務部に移管し、入札検査部を廃止する提案がありました。

**問** 財務部は移管後、入札の発注と検査の公平性・透明性という、時には相反する判断をすることになる。入札検査の独立性は担保できるのか。

**答** 実務を担当している入札検査室をそのままの体制で財務部に移管します。そのため独立性の担保は可能です。

**問** 令和元年12月定例会に今回と同じような入札検査部を財務部に移管する議案が出され、可決された。その後、令和2年3月定例会で再び入札検査部を独立させる議案が可決された経緯がある。その時との違いは。

**答** 水道部の不祥事発生により、入札検査部の移管は取りやめた経緯があります。その後の取組の中で、入札制度の改善を行い、十分な効果が出てきました。

今回の改編は令和3年度から取り組んでいる「組織のスリム化」を目指した改編の一環です。

**問** 入札検査部を廃止することにより、人員の削減はできるか。

**答** 現在、入札検査部長職は技監が兼務しているため、人員の削減はありません。

# 市民プラザの指定管理はどのように決定されたのか

市民プラザの指定管理期間満了に伴い、新たな事業者を採用する提案がありました。



丹波市 市民プラザ

**問** 県外を拠点に活動してきた団体が地元との緊密な連携が必要な業務を担うことができるのか。

**答** 新たに地域との信頼関係をこれから構築していくということになります。市として、新しい団体の業務が軌道に乗るまでの間は、市民活動課が地域との顔合わせや必要に応じて協議の場に随伴するなど、市民生活・市民サービスには影響しないよう、伴走支援をしていきます。また、地元で3名の職員を採用する計画もあります。

**問** 採用された指定管理者以外に応募はなかったのか。

**答** 応募はありませんでした。

**問** 4月までに体制が整い、新旧の指定管理者の引継ぎは可能か。

**答** 議会の承認が得られ次第、人材確保・引継ぎに着手し、新指定管理者が業務を開始する4月までには完了することになっています。

# ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる重要な機会です。私たちの生活に関わることについて質問や提言を行いました。

## テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

## 制限時間は60分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め60分です。

## ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、傍聴者には、質問要旨をお渡ししています。

今回は  
16人の一般質問が  
行われました！



一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は市議会ホームページからみることができます。  
[検索ワード] 丹波市議会インターネット中継



男女共同参画社会の実現を

公明党  
須原 すはら  
弥生 やよい



**問** 根強く残る性別役割分担意識の解消や男女共同参画の視点に立った意識改革のため、どのような取組を進めていくのか。

**答** 固定的な性別役割分担意識の解消と男女共同参画の視点に立った意識改革を計画の基本目標に掲げ、男女共同参画センターを中心に、広報・啓発活動・講演会・研修会・出前講座などに取り組んでまいります。

**問** 住民自治組織への女性参画のために、好事例の取組や、女性の視点の必要性をさらに紹介・啓発はできないか。

**答** 好事例の取組などの情報をいただければ、相談時や出前講座などで紹介できるのではないかと考えます。また、女性が自信をもって地域活動に参画できるような講座や補助金制度も制定しています。

**問** 家庭からの廃食油を回収して、配合飼料やバイオディーゼル燃料、航空燃料にリサイクルできる体制を作れないか。

**答** リサイクルの体制を整えるには至りませんが、資源の有効活用や二酸化炭素の排出抑制につながると考えますので、検討してまいります。



無所属の会  
奥村 おくむら  
正行 まさゆき

補助金要望時のカスターマールハラスメント



**問** ある高齢者団体との補助金増額協議時、机にメモ帳を数回叩きつけ、威圧的な態度や再三高圧的な言い方があったことが開示請求によりわかった。カスターマールハラスメントになると思うが、これは事実か。

**答** 当該団体や地域高齢者学級連絡会での協議の報告のとおり事実です。  
**問** 補助金の要望や見直しの協議などは、必要に応じ行われるが、当該団体との協議は今後どのようにされるのか。

**答** 当該団体の増額の趣旨は「補助対象経費に対して補助金支給率が団体間で不均衡・不公平である」との申入れ見直しに向け地域高齢者学級連絡会を今年度7回開催、当該団体と話し合いの場を5回に渡り行っています。補助対象経費を用いて補助金を算出する方法は、各地域高齢者団体の独自性や特色を抑制し、画一的な運営を強いるようなこととなり、自主運営の主旨に反することになりうることから、令和8年度からは会員一人あたりの実人数に年額2,640円を乗じた額と補助対象経費の2分の1を比較して、低い方の額を補助金として交付するなどの諸条件を付した要綱の準備を進めています。



丹新会  
東坂 ひがしなか  
範雄 のりお



**問** 「丹波の背骨幹線道路」(①氷上IC↓丹波IC↓谷川駅、②春日IC↓市島駅近傍IC↓丹波竹田駅、③遠阪ICに氷上方面への出入り口)整備を提案する。この道路は「いのちの道」「生計の道」「ぐらしの道」として将来の丹波市の活性化に必須である。整備についてどう考えるか。

**答** 「背骨幹線道路」に関するメリットは有意義だと認識するものの、膨大な建設費が課題です。市としては国道175号の氷上地域までの早期事業化を第一優先として取り組めます。

**問** 市の文書でカタカナ用語を控えるべき市報紙や予算ガイド、各種計画などにおいて使われるカタカナ用語で一般に通用している用語以外は使用を控えるべきである。

**答** 馴染みの薄いカタカナ用語は使用を避ける、あるいは注釈や解説を加えるなど必要な情報をわかりやすく市民に伝えることが心掛け、今後わかりやすい文書の作成に努めます。



日本共産党議員団  
西本 にしもと  
嘉宏 よしひろ

小中学校の学校給食無償化の本格実施を



**問** 今年度から中学校給食、10月からは小学校も3月まで期間限定で無償化を実施している。国の動向もあるが、来年度から小学校とも無償化を本格実施できないか。

**答** 中学校は継続します。小学校は財源確保が必要です。財政状況や国の動向を参考に研究します。



**問** 物価高騰の影響を大きく受ける生活困窮世帯等の負担軽減のため、「灯油券」の支給についてどうか。

**答** 「灯油券」については、暖房手段の多様化、事務手続きに時間を要すること、印刷費など多額の事務経費がかかるなどの課題があり、「難しい」と考えます。

**問** 「こども誰でも通園制度」のモデル事業を実施している。問題点や課題、来年度から義務化されるかどうか。

**答** 保護者の視点からの課題点・課題は、利用まで時間がかかることで、保育者では安全の確保や既存の保育との調整などです。来年度も「余裕活用型」で実施します。



丹・ま「ころ  
おおがき  
大垣 としあき  
利明



**問** 令和6年度から新規、有資格者に対する狩猟免許取得者支援事業が除外されているが、今後獣害の予測もされる。支援事業の再開はあるのか。

**答** 現状は、捕獲活動に必要な経費の支援に重点をおいており、狩猟免許の取得にかかる予算の計上を見合わせています。ただ、これから獣害対策を活発にしていること、例えば、有資格者をしっかり確保しておくというのも大事です。その意味で資格を取得された方の支援を行うことも重要な視点と考慮しています。

**問** 学校での熊対策・登下校時の対策として、地元の見守りの方に熊撃退スプレーを配布できないか。

**答** 学校にも熊の目撃情報が確認された地域については整備してもよいか、研究検討を考えていきたいと思えます。スプレーに関しては、使用方法も難しい部分があり、まずは熊を寄せ付けない観点から、対策を取っていくという考えです。スプレーは物によって差があるため、学校については子ども達に鈴を持たせるといった点も含めて総合的に判断したいと思えます。



丹新会  
あだち よしまさ  
足立 嘉正



下水道事業にかか  
る今後の取組は

**問** 加速的な人口減少によって使用料収入の減少、処理施設稼働率の低下が予想される中、今後下水道事業の健全な継続のためにどのように取り組んでいくのか。

**答** 処理区の統廃合による下水道事業の合理的な取組として、下水道ビジョンでは、合併当初35箇所あった処理施設を20箇所に集約する計画としております。早期に事業完了できるように取り組み、施設の維持管理費や更新費用の削減に努めてまいります。

さらなる市内周遊の促進を

**問** 誘客促進事業である万博たんばコインを活用した誘客促進事業及び丹波マップ活用による丹波市内周遊促進事業の現状は、どうなっているのか。

**答** 万博たんばコインを活用した誘客促進には、全国から1,300件の応募があり、抽選で2万円の万博たんばコインを500名に配布しました。丹波市内周遊促進事業では、現在までに87件の周遊バス旅行促進事業補助金の申請と170件のレンタカーなどの利用による周遊旅行促進事業補助金の申請がありました。今後は、来訪者が観光施設を周遊するだけでなく、地域内消費と地域活性化に繋げてまいりたいと考えております。



丹新会  
よしつみ つよし  
吉積 毅



社会の変化に対応した  
学校教育を進めよう

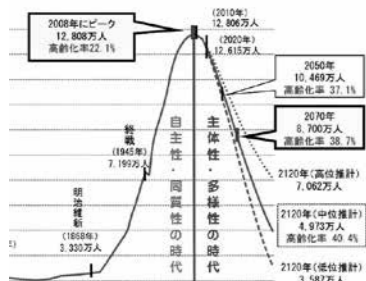
**問** 市内小中学校において、主体性と当事者性をどのように捉え、どのような取組をしているのか。

**答** 主体性を育むため、自己決定・自己選択の機会を増やし、自ら考え判断する経験が大切です。授業では、他者と協働し課題解決する学習へのシフトを進めています。当事者性は、諸問題を自分事と捉え、協力して解決する経験の積み重ねが大切と考え、特別活動や道徳科の時間を中心にすべての学校で取り組んでいます。

教えるから学ぶへの取組は

**問** 「学ぶ」は、どのような内容で進んでいるのか。

**答** 子どもが主体的に問いを持ち、解を導き出す探究学習に多くの学校が取り組んでいます。市内小6・中3では、課題の解決に向け、自分から取り組んでいるとの回答が約80%で、着実に成果が上がっていると感じています。



主体性・多様性の時代  
(国土交通省 国土形成計画  
関連データ集より)



丹新会  
ひろた  
広田 まゆみ



観光ボランティアガイ  
ドの育成を

**問** 市内で活躍されている観光ボランティアガイドの高齢化に対して、市が主体となったボランティアの育成をすべきではないか。

**答** 今は観光協会のなかで独自に育成をさせていただいている状況です。研修プログラムをしっかり持つことが必要ではありませんが、講習会を開催しても参加者は少ないことが想定されるため、どの方法が良いのか観光協会とも相談させていただきます。

福祉サービスの充実のために

**問** 「国庫負担基準」は、利用者ごとのサービスの上限ではなく、市町村に対する国庫負担の上限であり、サービスの利用が少ない方からサービスの利用が多い方に対して国庫負担基準を回すことができる柔軟な仕組みである。利用者のための制度を丹波市は活用できているか。

**答** 重度訪問介護などの訪問系サービスにおいては、「国庫負担基準」いわゆる上限設定がされており、当該サービスの支給決定者数や重度者の割合等を考慮して、算定した金額の範囲内において2分の1の負担が行われる仕組みであり、本市でもこの制度を活用しています。



丹・まごころ  
まえだ やすき  
前田 安城



一般廃棄物(家庭ごみ)  
について

**問** 製品プラスチックの資源化に伴うクリーンセンターの灯油使用量の増加はあるか。

**答** 全体で使用している灯油は微増ですが、プラスチックごみの処理方法の変更によるものではありません。

**問** プラスチックを多用する子供の玩具、祭りの景品、簡易な製品などは充電式や電池式により出し方に違いがある。リチウムを使った製品の分類が分かりにくい、改善できないか。

**答** 危険性の認識が必要です。インパクトのある広報を研究していきます。

**問** 再度、実証施設での剪定枝の受け入れを予算化できないか。

**答** 実証実験にて課題があると結果を出していますので再開は考えていません。

**問** 使用済み食用油の回収を市民の利便性のよいスーパーやコンビニなど、民間で回収を利用している店舗を回収場所にできないか。

**答** 廃食用油も価値がある認識をしていますので、コストも考え、検討していきます。



無会派  
おた いっせい  
太田 一誠



法律上の管理責任に  
ついて

**問** 消火栓や防火水槽の法律上の設置義務・管理義務根拠は、自治会ではなく市にあるのか。

**答** 設置・管理義務の根拠法は、消防法第20条第2項ですが、地域の実情に応じて柔軟に設置できるという点を踏まえ、市発足以前から自治会に担っていただいております。今後、これまでの取り扱いも含め、考え方を整理し説明します。

**問** 丹波市公共施設等総合管理計画の氷上斎場について、廃止スケジュールと跡地利用や周知は。

**答** 氷上斎場は令和8年度末をもって廃止予定ですので、市広報紙などで周知します。公園整備など具体的跡地利用方法は決まっています。

**問** 全国道の駅シンポジウムin丹波から、道の駅の再整備計画の今後は。

**答** 道の駅丹波おばあちゃんの里は、国が推進する地方創生・観光を加速する拠点へと進化させることを目指します。道の駅あおがきは丹波市過疎地域持続的発展計画の再整備事業の中で丹波市産材をできる限り活用していきます。



公明党  
とくら ひろし  
十倉 浩



物価高騰対策について

**問** 「重点支援地方交付金」を最大限活用した即効性のある「平等・公平」な支援が必要だと考えるが。

**答** 物価高騰の影響がどのような分野で大きいのか、市民のニーズは何なのかなど、市の実情に即した生活者支援や、事業者支援をしっかりと協議し、実施時期についても可能な限り速やかに取り組んでいきます。

公共事業の現状とその取組について

**問** 公共工事の発注件数が減少傾向にあることが市の景気動向調査報告書などで示されているが、現状、どのような状況か。

**答** 受注機会の減少を感じておられる市内事業者がいらっしゃることも承知しており、引き続き、市内事業者への優先的な発注に取り組んでいきます。

**問** 技術系職員の人材確保、適切な人員配置が困難になってきているのではないか。

**答** 全国的にも深刻な問題であり、定員適正化計画に沿った技師の確保ができていません。この状況を重く受け止め、近隣高校・大学への人材確保のための働きかけを強め、民間活用を含めた技師の確保に向けて、あらゆる施策の実施を検討していきます。



日本共産党議員団  
ほそみ あきくみ  
細見 昭文



### 第3次丹波市総合計画 の環境保全について

**問** 加古川堤防の30年経過の桜の木は、ツタやてんぐ巣病で侵された木が多い。青森県弘前公園では、多くの市職員を配置して、花の総数が大変多く110年経過の桜の木を咲かせている。市がツタを取り、てんぐ巣病の枝を切るといったことはできないのか。

**答** 市は害虫防除及び市道の通行を支援する場合に枝葉を伐採し、人家や通行などに危険な場合は県と協議します。自治会などで桜の木周辺でツタを含めて除草された場合は、河川環境整備事業により1㎡当たり8円の委託料をお支払いしており、地元自治会などと協同して管理してまいります。

**問** 丹波市として市営の樹木葬を導入できないか。山林が放棄され、荒れた里山が増えている。樹木葬は荒れた里山を墓地として整備し、埋葬するたびに植樹する。兵庫県では霊園・墓地は450件、公営は92件である。市営の樹木葬を考えてほしい。

**答** 墓地の取り扱いは大きく変化し、現在のお墓を撤去して納骨堂の永代供養などにする「墓じまい」が増加しています。墓地を経営することについては、宗教法人が経営される方が適当と考え、市が樹木葬を行う墓地を経営することは考えておりません。



丹新会  
おおしま けんじ  
大嶋 恵子



### 薬草トウキの認知度を あげ魅力ある特産物に

**問** トウキ生産者との産学連携について、丹波市として推進する考えはあるか伺いたい。

**答** 市全体でトウキに関する学習を義務付けることは考えておりませんが、各学校で地域の方の協力を得ながら、また、学習内容によっては高校や大学、企業とも連携しながら、魅力あるふるさと学習を推進してまいります。

**問** トウキ苗の補助金について伺いたい。

**答** 市の特産物として位置づけ、種子等購入助成や生産組合等支援事業、特産物振興交付金などを活用し振興していく予定です。薬草の需要が増加し、生産農家も増える中、今後の産地支援の政策について

**答** トウキをはじめ薬草の需要は、漢方薬市場の拡大や健康志向の高まりを背景に増加傾向にあります。トウキなどの薬草が栽培できる土壌や生産者がおられる中で、薬草振興を図っていく支援を継続してまいります。



トウキ 薬草当帰の花と葉



丹・まごころ  
たかはし まみ  
高橋 まみ



### 里山下での環境教育に ついて

**問** 熊出没時の対応は。教育委員会、警察と市が情報共有し、校区ごとに防災無線で注意を呼びかけています。市民からの目撃情報を警察、市に届けようというところが大切です。

**問** 幼児から生涯にわたる環境教育の啓発は、7割が山林である本市ならではの、住みよい意識づくりに繋がるのではないかと。

**答** 教育委員会でも、丹波市の豊かな自然を題材とする環境教育は丹波市として必要な教育と考えております。

**問** 民生委員等に対する個人情報の取扱について改善された点があるか。

**答** 現在に至るまで、国などから民生委員児童委員に対する個人情報の統一的な取扱は示されていないのが現状です。そこで本市としては、民生委員児童委員のみならず、地域の住民が助け合いや支え合いによる支援活動を行うおとする際に、個人情報の取扱が障壁となつていないかを課題とし、改善策として、外部委員で構成する丹波市地域福祉計画推進協議会の中で、個人情報取扱ルールの作る作業部会を設け、ガイドラインの策定を進めているところです。



無所属の会  
おがわ しろう  
小川 庄策



### 丹波市において、現在 全ての埋葬は可能か

**問** 現在の丹波市の条例は、丹波市内において全ての埋葬（土葬を含む）が可能か。特定の埋葬方法を禁止する規定はございませんか。

**答** 埋葬方法について、審議会の設置が必要でないか。

**答** 丹波市内では、「焼骨」での埋葬が一般化しており、埋葬方法を議論いただく審議会の設置は現段階では考えていませんが、近隣の状況を研究してまいります。

**問** 公共施設の開庁時間の変更について、各種イベント・スポーツ振興への対応は。施設の使用時間は、午前9時から午後10時までとしており、準備等に必要時間も含め事前に予約してください。特に必要と認められる場合には、午前7時から利用いただくことも可能です。

**問** 道路損傷通報システムを市民発信の危険予防通報ツールへ

**答** 道路利用者への危険防止の発信にご活用ください。



墓地等の経営  
許可条例



丹新会  
いわた ゆっき  
家田 優樹



### 離婚を考えた際の サポート充実に向けて

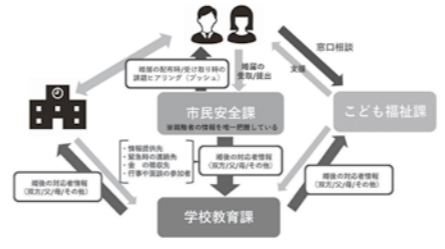
**問** 選択的共同親権施行を踏まえ、離婚前からの相談支援体制強化に向けて丹波市はどのような取組を行う予定か。

**答** 市HPに離婚前相談ページを設け、養育費・親子交流・共同親権など離婚前に考えるべき事項を整理して提示する予定です。離婚を考えた際に何をすべきかが分かるチェックシートを作成してはどうか。

**問** 実際に確認し有用性を感じたため、HPの構成変更やチェックリスト導入について担当課と協議を進めています。

**問** パンフレット配布時に悩みがあると察した場合、行政として現在プッシュ型での相談案内や適切な窓口への積極的な紹介は行っているのか。

**答** 担当課では庁内の連携会議を通じて、不安を抱える市民に気づいた際は積極的に相談案内を行い、必要部署へつなぐ体制を現在も取っています。



庁内連携のイメージ図

### 丹波市議会

## 「こどもまんなか応援 サポーター宣言」決議

丹波市議会は、すべてのこどもたちが幸せに暮らせるように、常にこどもたちの今とこれからにとって最もよいことは何かを考え、社会全体で支えていく「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」として、誰もが安心してこどもを生み育てられ、こどもたちがたくましく健やかに育つことができるまちづくりを目指すことを宣言します。

以上、決議する。

丹波市議会

すべてのこどもたちが  
幸せに暮らせるように、  
こどもまんなかアクション  
に参加します。



こどもまんなか  
応援サポーター



こどもまんなか  
アクション



# 全員賛成で可決・同意・承認・採択した議案

12月定例会

議案	議案
案人件事 ○ 丹波市教育委員会委員の任命 上羽 裕樹 氏	○ 指定管理者の指定 (道の駅あおがき直販加工施設)
令和7年度補正予算 ○ 一般会計(第5号) ○ 国民健康保険特別会計事業勘定(第2号) ○ 国民健康保険特別会計直診勘定(第2号) ○ 介護保険特別会計保険事業勘定(第3号) ○ 訪問看護ステーション特別会計(第2号) ○ 地方卸売市場特別会計(第2号) ○ 駐車場特別会計(第2号) ○ 看護専門学校特別会計(第3号) ○ 水道事業会計(第2号) ○ 下水道事業会計(第2号)	○ 指定管理者の指定(とれとれ市農産物直売施設ひかみ四季菜館) ○ 指定管理者の指定(ウッディブラザ山の駅) ○ 指定管理者の指定(大杉ダム自然公園) ○ 指定管理者の指定(今出川親水公園) ○ 指定管理者の指定(丹波悠遊の森) ○ 指定管理者の指定(石生第1公園) ○ 指定管理者の指定(石生第2公園) ○ 指定管理者の指定(西中東公園) ○ 指定管理者の指定(西中西公園) ○ 指定管理者の指定(西中南公園) ○ 指定管理者の指定(西中北東公園) ○ 指定管理者の指定(西中北西公園)
条例改正 ○ 市職員の給与に関する条例等 ○ 市立スポーツ施設条例 ○ 市立スポーツ施設条例 ○ 買戻し特約財源基金条例 ○ 市立障害者地域活動支援センター条例及び児童発達支援センター条例 ○ 市立地方卸売市場条例 ○ 丹波市地域資源活用懇話会設置条例 ○ 都市公園条例 ○ 火災予防条例 ○ 水道事業給水条例 ○ 市立文化ホール条例【全部改正】	○ 指定管理者の指定(氷上斎場、柏原斎場 つつじ苑) ○ 指定管理者の指定(障害者地域活動支援センター)
承認 ○ 令和7年度丹波市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認	その他 ○ 指定管理者の指定(道の駅丹波おばあちゃんの里) ○ 市有財産の無償貸付(旧近畿農政局小野統計・情報センター丹波庁舎) ○ 市立三ツ塚ふれあいセンター愛育館の廃止 <b>特</b> ○ 市有財産の売払い(旧山南中学校)
指定管理者 ○ 指定管理者の指定(氷上斎場、柏原斎場 つつじ苑) ○ 指定管理者の指定(障害者地域活動支援センター)	請願 ○ 物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願
	決議 ○ 丹波市議会「こどもまんなか応援サポーター宣言」
	意見書 ○ 物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書 ○ JRローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書



# 議案の審議結果

## 賛否が分かれた議案と審議結果

議案	結果	賛成	反対	須原 弥生	十倉 浩	太田 一誠	大垣 利明	高橋 まみ	前田 安城	小川 庄策	奥村 正行	細見 昭文	西本 嘉宏	酒井 浩二	吉積 毅	足立 嘉正	家田 優樹	広田 まゆみ	東坂 範雄	大嶋 恵子	谷水 雄一		
改正例 行政組織条例	原案可決	10	7	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	議長
指定管理者 指定管理者の指定(丹波市市民プラザ)	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

※ ○は賛成、●は反対、■は賛成・反対討論を行った議員。  
 ※ 議長は議事進行を行うため、特別多数議決を除き原則として採決には加わりません。賛否同数の場合のみ議長は裁決を行います。  
 ※ 特別多数議決 **特**：重要な公の施設の廃止など、特に重要な議案については3分の2以上の賛成を必要とし、議長も採決に加わります。



国へ提出

## 物価高騰に見合う年金引き上げを求める請願を審査

物価高騰が長期化する中、年金生活者の暮らしは厳しさを増しています。12月16日開催の民生産建常任委員会では、「物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願」について、年金制度の現状や高齢者の生活実態を踏まえた請願審査を慎重に行いました。本請願は、近年の急激な物価上昇に対し、公的年金の引き上げが十分に追いついていないとして、物価上昇率に見合う年金引き上げを国に求めるものです。

請願者に参考人として委員会にご出席いただき、願意をお伺いしました。審査の結果、国に対して意見書を提出しました。

【請願者】  
全日本年金者組合兵庫県本部丹波支部  
 【紹介議員】  
西本 嘉宏、奥村 正行

意見書全文はこちら



国へ提出

## JRローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援を求める意見書

JR各社が担う全国的な鉄道網は、社会の基盤としての役割を担っており、経営状況に関わらず、全国で公平かつ安定的に確保されるべき極めて重要な交通手段です。従って、鉄道のあり方は、路線の採算性だけで判断されるのではなく、地方創生や全国的な鉄道網としての議論が不可欠です。この点で、加古川線は、山陽本線と福知山線を結んでおり、広域鉄道網を構成する重要な路線と言えます。現に31年前の阪神・淡路大震災では寸断した阪神間の鉄道路線に代わり重要な迂回路として活躍し、必要不可欠な路線であることを改めて認識することとなりました。

以上より、鉄道路線の維持・存続に関して、国の支援と関与が不可欠です。地方創生を実現させ、災害に強い鉄道ネットワークを将来にわたって維持することは国の責務であり、鉄道のあり方は自治体や鉄道事業者任せにするのではなく、国が責任を持って取り組む必要があります。

については、国による積極的な関与と必要な支援措置について、4項目からなる意見書を国へ提出しました。

## 政治倫理審査会を設置

丹波市議会は、家田優樹議員が市議会議員政治倫理条例に違反し、市当局への働きかけなどを行った疑いがあるとして、市議会議員5人から調査請求を受けました。

谷水雄一議長からの諮問を受けた議会運営委員会は、同条例に基づき政治倫理審査会(政倫審)の設置を決定しました。審査会は大学教授や弁護士など外部有識者5名で構成され、初会合は12月8日に開催されました。今後、請求内容の適否や事案の存否について公正な審査が行われます。市民の信頼回復に向け、厳正かつ透明性の高い審査が進められる予定です。議会は引き続き、政治倫理の確立に努めてまいります。

## 民生産建常任委員会の活動

### 丹波市中小企業・小規模企業振興基本条例各種団体との意見交換

民生産建常任委員会は丹波市中小企業・小規模企業振興基本条例が適切に機能しているかを調査する目的で丹波市商工会、一般社団法人丹波市観光協会、氷上金融協会、柏原公共職業安定所などと意見交換会を開催しました。

各団体との意見交換を経て、条例制定時からの社会情勢の変化も見えてきました。今後、意見交換の結果を踏まえて条例を検証してまいります。

## 委員会行政視察報告

### 民生産建常任委員会

10月7日・15日・16日

#### 衛星およびAIを活用した 上水道管路の漏水調査 (兵庫県朝来市)



丹波市と同じく山間部に位置しており、地理条件の厳しい地域の水道を少数の職員で維持管理するには、効率的な事業運営が不可欠です。そこで、兵庫県の「人工衛星画像を活用した漏水解析委託事業」に参加され、調査では、管路延長約621km（市内全域）のうち、136か所（53.4km）が漏水疑い（発見率9%）として抽出されました。通常5年ほどかかる現地調査が7か月に短縮されていました。

#### 平成30年7月豪雨災害 からの復旧状況および 防災対策の取組 (広島県坂町)



県や国との綿密な連携により、被災からわずか6年ほどで99%の復旧を達成されました。教訓を将来に伝承し、災害を風化させないため、「坂町災害伝承ホール」を建設されました。

また、自助・公助の体制づくりを進めるとともに、地元小学生による「防災セット」作りや「自然災害伝承講演会」などが継続的に実施されています。

#### 地震、水害に備えた 避難所の充実 (徳島県鳴門市)



南海トラフ巨大地震や浸水被害への対策として、ハード・ソフト両面から避難所の体制強化に取り組んでおられます。日常の生活の質を高めつつ、災害時にも役立つ「フェーズフリー」を推進されています。

**フェーズフリー**：日常的に使用しているモノやサービスを災害時にも役立てることができるという考え方

全国各地から

## 視察を受け入れました

丹波市議会では、議会改革や広報広聴活動などの視察を受け入れています。全国各地の市町議会から丹波市議会にお越しいただきました。



### 視察受入れ議会

### 視察内容

- |         |           |                        |
|---------|-----------|------------------------|
| 令和7年 5月 | 兵庫県加西市議会  | (広報広聴・ミライプロジェクト・意見交換会) |
| 10月     | 福井県大野市議会  | (意見交換会)                |
| 11月     | 石川県かほく市議会 | (議会改革・ミライプロジェクト)       |
|         | 高知県南国市議会  | (ミライプロジェクト・意見交換会)      |

## 井戸端スタイル 市民との意見交換会

テーマ

視覚障がい者に対する支援のあり方

11/7



丹波市視覚障害者福祉会  
市民プラザにて  
6名参加

参加  
議員

高橋 まみ 奥村 正行  
細見 昭文 吉積 毅

- 1) 同行援護の移動支援について
  - 2) 日常生活用具支給事業の現状と把握
  - 3) 見えない、見えにくい方へのお困りごと
- 上記3つについて現状をお聞きしました。懇談の時点で把握できなかった制度の詳細や問題を民生産建常任委員会で継続審査することになりました。

## 委員会行政視察報告

### 議会運営委員会

10月30日・31日

丹波市議会では会派主体で全会派一致のうへ、政策提言を行っています。今回さらに、積極的な施策の提言を目指し、視察研修を行いました。

#### 当局との合意形成が 重要ポイント

(愛知県半田市議会)



#### 常任委員会発の政策 提言が当局も動かす 実効性を全議員が実感

(愛知県知立市議会)



- 5月～6月 委員会で調査テーマを決定
  - 6月～1月 勉強会や視察で調査・研究
  - 2月～4月 提言をまとめる
  - 5月 本会議で報告・提言
- この1年サイクルで実施されています。

委員会改選後に1年間の政策テーマを協議、行政視察を含めた所管事務調査を実施し、1年後の任期末に政策提言書を市長に提出されています。

### 総務文教常任委員会

10月9日・10日

総務文教常任委員会は「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について」をテーマに行政視察を行いました。

#### 「子どもが参加する」 から「子どもが参画 する」に

(三重県名張市)



#### コミュニティ・スクール と地域学校協働活動 の一体的推進の取組

(愛知県北名古屋市)



子どもの参画を中心に捉え、学校・家庭・地域が相互に支えあう仕組みを構築されています。また、校長や教育長が地域課題を共有し、ビジョンを語ることで地域の主体的な参画が促進されている点が先進的でした。

地域学校協働活動は単なる学校の支援組織ではなく、学校経営の一部として機能させることが重要との視点に立ち、学校と地域の信頼関係を築き、役割を明確にしたことで、活動の質と継続性の向上を図られています。

知ってる!?

## ギカイクイズ

高校生のアイデアでスタートした「知ってる!? ギカイクイズ」。今回で18回目です。議員や市議会のことを知る良い機会ですので、ぜひ皆さんで考えてみてください♪

### 【問題】

ぎかい なか せんもんてき ふくし  
議会の中で専門的に福祉のことを  
はな あ いいんかいめい なん  
話し合う委員会名は何でしょう?

- ① 総務文教 常任委員会
- ② 予算決算 常任委員会
- ③ 民生産建 常任委員会

※ 答えは 17 ページの一番下

## FM805 たんば

「議員さんこんにちは!」で  
「たんばりんぐ」情報発信中!

議会をもっと身近に



放送日

1月27日(火)  
午後8時30分~  
※ 再放送は  
2月1日(日)  
午前10時30分~

まちを好きになるアプリ



マチイロは、全国800を超える自治体で導入されているスマートフォン用アプリです。広報たんばやたんばりんぐをスマートフォンで見ることができます。

※ 「マチイロ」の利用料は無料  
(通信費は利用者負担)

(注) アプリの運営会社が掲載する広告が表示される場合がありますが、内容に関しては一切責任を負いません。

いつでも  
どこでも  
たんばりんぐ



## 本会議や委員会の視聴は パソコン・スマホが便利♪



動画配信

市議会では、本会議や委員会の様子をインターネットで動画配信しています。録画映像も公開しておりますので、見逃した方もパソコン・スマートフォンでご覧になれます。  
(録画映像は会議終了後、1週間程度で公開)

## フェイスブックでも 市議会情報を発信中

丹波市議会では、本会議や委員会の日程のほか、市議会からのお知らせをフェイスブックでも配信しています。



## 3 月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
2/22	23	24	25	26	27	28
		本会議 議案提案 10:00~				
3/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 議案質疑 委員会付託 10:00~	民生産建 常任委員会 10:00~	総務文教 常任委員会 10:00~	予算決算 常任委員会 10:00~	常任委員会 予備日 PM	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 議案採決 (当初予算 以外) 10:00~		本会議 一般質問 (代表) 10:00~	本会議 一般質問 (個人) 10:00~	本会議 一般質問 (個人) 10:00~	
15	16	17	18	19	20	21
	予算決算 常任委員会 10:00~	予算決算 常任委員会 10:00~	予算決算 常任委員会 10:00~	予算決算 常任委員会 10:00~		
22	23	24	25	26	27	28
	予算決算 常任委員会 予備日 PM	予算決算 常任委員会 10:00~	予算決算 常任委員会 10:00~		本会議 議案採決 (当初予算) 10:00~	

\* 開庁時間の変更に伴い、会議の開始時刻が変更になっています。

\* 上記の日程は変更になる場合があります。最新の情報はホームページなどでご確認ください。



令和7年度

## ケント市・オーバン市 姉妹都市提携訪問報告

【日程】 令和7年10月6日(月)~11日(土)

【訪問先】 アメリカ合衆国ワシントン州ケント市・オーバン市  
在シアトル日本国領事館、Green River College (大学) ほか

【訪問団】 丹波市長、丹波市議会議長、丹波市国際交流協会会長、丹波市職員5名

### 【視察報告】

丹波市は、平成30年8月10日に丹波市・ケント市・オーバン市の3市姉妹都市提携協定を締結しました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響により相互訪問が途絶えておりました。昨年秋、ケント市長が丹波市を訪問されたことで交流がようやく再開され、今回の訪問が実現する運びとなりました。

今回の訪問では、ケント市・オーバン市をはじめ、訪問した各所において温かい歓迎を受けました。特筆すべきは、3市の継続的な交流の礎を築くため、将来を担う若手職員が同行したことです。これにより、次世代へとつながる持続可能な懸け橋を構築することができました。

また、各訪問先との協働を通じて、産業経済分野における新たな可能性を見出すことができました。特に航空宇宙産業の分野において、丹波市には大きな発展



▲ ケント市の皆様と訪問団



オーバン市長と  
谷水雄一議長 ▶

の機会があることを確認しました。

丹波市議会として、今回の訪問で芽生えた新たな産業分野の可能性を大きく育て、着実に成長させていくため、建設的かつ前向きな議論を重ねていく所存です。国際交流を単なる友好親善にとどめることなく、市民の生活向上や地域経済の発展、若者の人材育成といった具体的な成果につなげていくことが、今後の重要な課題であると考えています。

丹波市議会 議長 谷水 雄一

## 教えて! 議会ワード No. 18

### 丹波市議会議員 「政治倫理審査会」とは?

丹波市議会議員政治倫理審査会は、議員が政治倫理条例に違反した疑いがある場合に、政治的・道義的責任の有無を審査するため設置されます。

丹波市議会の場合は、審査会委員は高い識見を有する第三者から選任され、60日以内に審査結果を議長に報告することになっています。



### 「指定管理者制度」とは?

指定管理者制度とは、民間事業者や団体などが公の施設の管理を行うことができる仕組みです。民間のノウハウを生かしたサービスの向上や経費等の縮減を図ることが期待されるため、丹波市では指定管理者制度の対象施設の拡大や、より柔軟な運営ができるよう努めています。

空き家が人の集まる場  
となり、地域がにぎわう  
未来を！

自然と共生し、  
持続可能な  
まちにしてほしい。

子育てを楽しめる支援が  
充実し、家庭に寄り添う  
まちであってほしい。

地域のつながりが深まり、  
誰もが安心して暮らせる  
まちに！

# みんなの意見を たんばりんぐに

市民が意見を交わせる場が  
増え、まちづくりがもっと  
身近になることを願います。

伝統を守りつつ、  
新しい文化とも調和する  
まちを期待しています。

下記の方法で意見の投稿を受け付けています。

- 1. フォームで回答 → 
- 2. FAX
- 3. 郵送

①～④の事項をご記入ください。

- ① 氏名    ② 年代
- ③ 連絡先電話番号 または メールアドレス
- ④ 市や議会に対する思い・意見

【FAX番号】0795-82-1523

【郵送先】〒669-3692

丹波市氷上町成松字甲賀1番地 丹波市議会事務局 宛

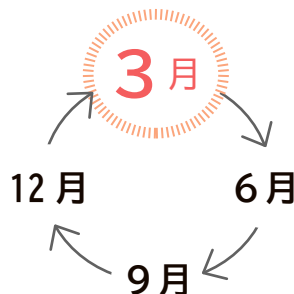


※ 投稿内容を正確に把握するため、  
問い合わせをさせていただく場合が  
あります。

※ 投稿内容は議会だよりに掲載される  
ことがあります。掲載にあたり、  
編集を行う場合がありますので  
ご了承ください。

発行：兵庫県丹波市議会  
編集：広報広聴委員会  
〒669-3692 兵庫県丹波市  
氷上町成松字甲賀1番地  
TEL 0795-82-1472  
FAX 0795-82-1523  
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	「発行責任者」
大嶋	東坂	吉積	酒井	十倉	高橋	家田	谷水	「広報広聴委員会」
恵子	範雄	毅	浩二	浩	まみ	優樹	雄一	



2026年が始まりました！  
次回はお金の使いみちや  
市の施政方針、教育方針  
や会派の代表質問があり  
ます。